

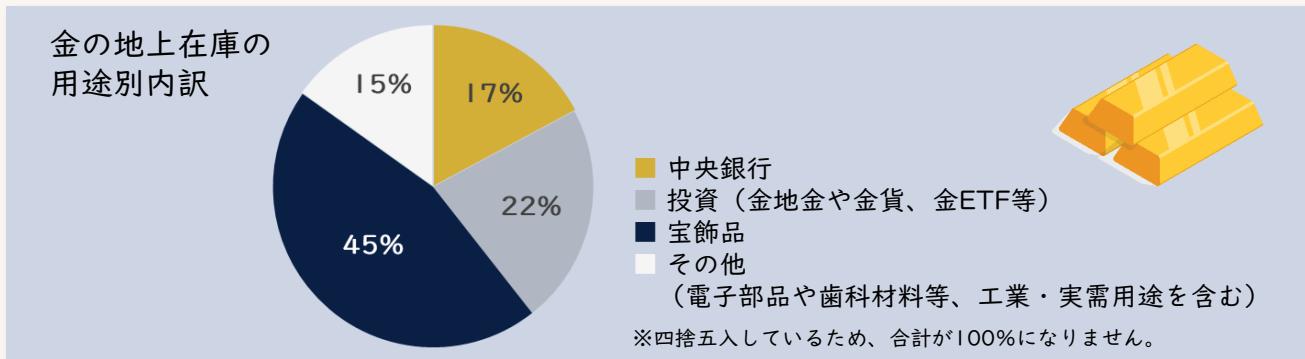


株式や債券とは異なる特徴を持つ、投資先としての“金”。そんな金の魅力と、金にまつわるコラムを「知って得する、金の真実」としてお届けします。金への投資に興味を持っていただくなきつけとなりましたら幸いです。

Column ~金を保有しているのは投資家だけ?

金を保有しているのは投資家だけではないことをご存じでしょうか?実は、世界各国の中央銀行も金を蓄えています。というのも、各国の中央銀行は外貨準備の一部、「金準備」という国家戦略の一環で金を保有しているのです。

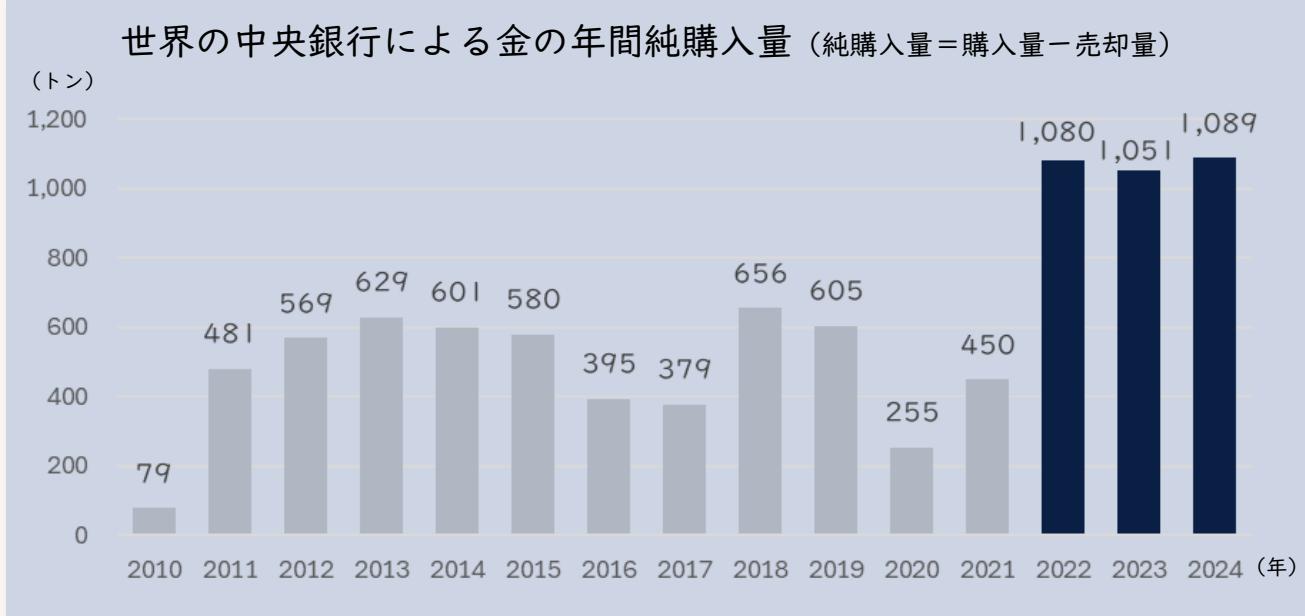
世界中に存在する金の総量(=地上在庫、採掘済みの金の総量)の用途別内訳は以下の通りです。半分弱は宝飾品として流通していますが、およそ6分の1程度は中央銀行による保有分です。



(基準日) 2024年末

(出所) World Gold Councilのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

それでは次に、各国の中央銀行による金の年間純購入量の推移を見てみましょう。以下のグラフを見ると、2010年・2020年を除きおおよそ毎年300トン~600トン程度の購入量で推移していたところ、2022年を境に購入量が急増していることが読み取れます。この急増の理由のひとつに、新興国の金準備の積み増しが挙げられます。いったいなぜ、新興国の金準備が増加しているのでしょうか?まずは、そもそも各国がなぜ金を保有するのか考えてみましょう。



(期間) 2010年~2024年、年次

(出所) World Gold Councilのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

外貨準備と金準備

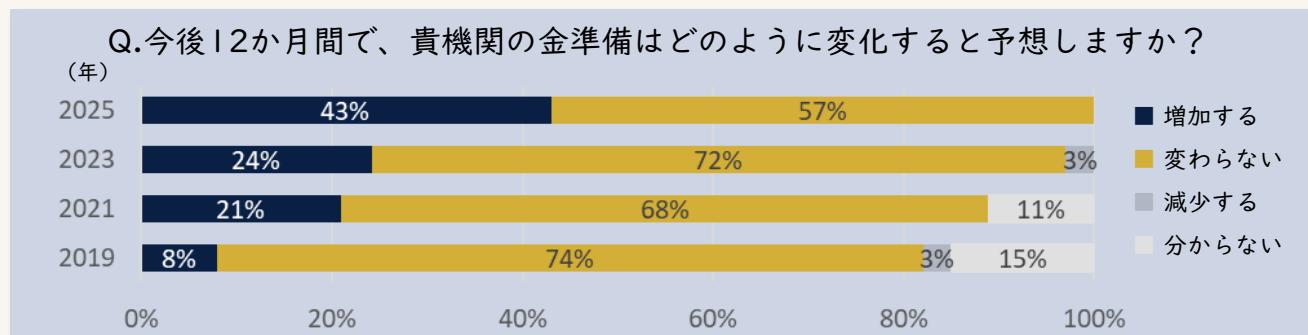
まずは「外貨準備」について整理しておきましょう。外貨準備とは、国際取引や為替介入、金融の安定のために各国が保有している外国通貨や資産のことです、米ドルやユーロ建ての国債、預金、そして金などが含まれます。ざっくり言えば、「国の経済を守るために支え」として、自国通貨以外の資産を持っているということです。

この外貨準備の中でも金は特殊な存在です。なぜなら、特定の国の影響を受けにくく、信用リスクがなく価値が普遍的だからです。例えばユーロ建ての資産は、ヨーロッパで有事が起きれば価値が下がる可能性があります。米ドル建て資産も同様に、米国の政治・経済の影響を受けます。

一方で、金はどの国にも依存せず、世界中どこでも・誰からも価値が認められている資産です。だからこそ、地政学リスクが高まる局面、つまり国際情勢が不安定なときに「安全資産」として注目されます。

ここで、「なぜ新興国が金準備を増やしているのか」という問い合わせが見えてきます。新興国の中には自国通貨が不安定な国も多く、金は「世界中で通用する安心の資産」として経済の安定を支える役割を果たしています。また、米ドルに過度に依存すると米国の政治や経済の影響を強く受けるため、米ドル依存を減らす目的でも金準備の積み増しが進んでいます。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻後、米欧が米ドル・ユーロ建ての外貨資産を凍結したことから、どの国にも左右されない中立的な資産としての金の重要性が再認識されました。これも新興国が金準備を増やす動機のひとつです。

ここでは新興国の金準備について触れましたが、2025年に各国の中央銀行を対象に行われたアンケート調査では、先進国・新興国を含む43%が「今後1年以内に金準備を増やす予定」と回答しています。



(出所) World Gold Councilのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

このように、金は各国の中央銀行が安全資産として戦略的に保有するほど信頼性の高い資産です。そうした背景を踏まえれば、私たち個人の資産運用においても、金をポートフォリオの一部として検討してみる価値は十分にあるのではないでしょうか。

！ 本資料に関するご注意事項等

- 本資料は金についてご理解いただくための参考資料として、三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

！ 本資料の作成は



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客様専用
フリーダイヤル
0120-151034
(受付時間／営業日の9:00～17:00)

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufg.jp/>